enu2xyz

ENU 座標から ECEF 座標への変換

構文

posxyz = enu2xyz(enu, orgxyz)

説明

● posxyz = enu2xyz(enu, orgxyz) は, orgxyz を原点とする ENU 座標系の座標 enu を, ECEF 座標系 (WGS-84) の座標 posxyz に変換します.

入力引数

enu	3×1	[e,n,u]': ENU 座標 [m]
orgxyz	3×1	[x,y,z]': ENU 座標系の原点の XYZ 座標 [m]

出力引数

posxyz 3x1 [x,y,z]': E	ECEF 座標系の XYZ 座標 [m]
------------------------	----------------------

例

電子基準点「野洲」(滋賀県野洲市)を原点とした、「大津 1」(滋賀県大津市)の ENU 座標を求めると以下のようになります.

```
posxyz = [-3.7481116588E+06; 3.6358773979E+06; 3.6504372240E+06]; %「大津 1」の XYZ 座標 orgxyz = [-3.7612146357E+06; 3.6269394660E+06; 3.6457307709E+06]; %「野洲」の XYZ 座標 enu = xyz2enu(posxyz, orgxyz)
```

enu =

- 1.0e+04 *
- -1.552918561810580
- 0.570663086335104
- 0.006394764533164
- この ENU 座標を enu2xyz を用いて ECEF 座標に戻すと以下のようになります.

enu2xyz(enu, orgxyz)

ans =

- 1.0e+06 *
- -3.748111658800000
- 3.635877397900000
- 3.650437224000000

[Note] この例では,電子基準点の座標値として日々の座標値 [1] (2016 年 1 月 1 日の F3 解)を利用しました.

詳細

座標変換は以下の計算により行われます.

$$\begin{bmatrix} x_{\rm pos} \\ y_{\rm pos} \\ z_{\rm pos} \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} -\sin\lambda & -\sin\phi\cos\lambda & \cos\phi\cos\lambda \\ \cos\lambda & \sin\phi\sin\lambda & \cos\phi\sin\lambda \\ 0 & \cos\phi & \sin\phi \end{bmatrix} \begin{bmatrix} e \\ n \\ u \end{bmatrix} + \begin{bmatrix} x_{\rm org} \\ y_{\rm org} \\ z_{\rm org} \end{bmatrix}$$

ただし、 ϕ 、 λ はそれぞれ ENU 座標系の原点 (orgxyz) の緯度、経度です.詳細は以下の文書を参照してください.

• 座標系とその変換

参考

文献

2